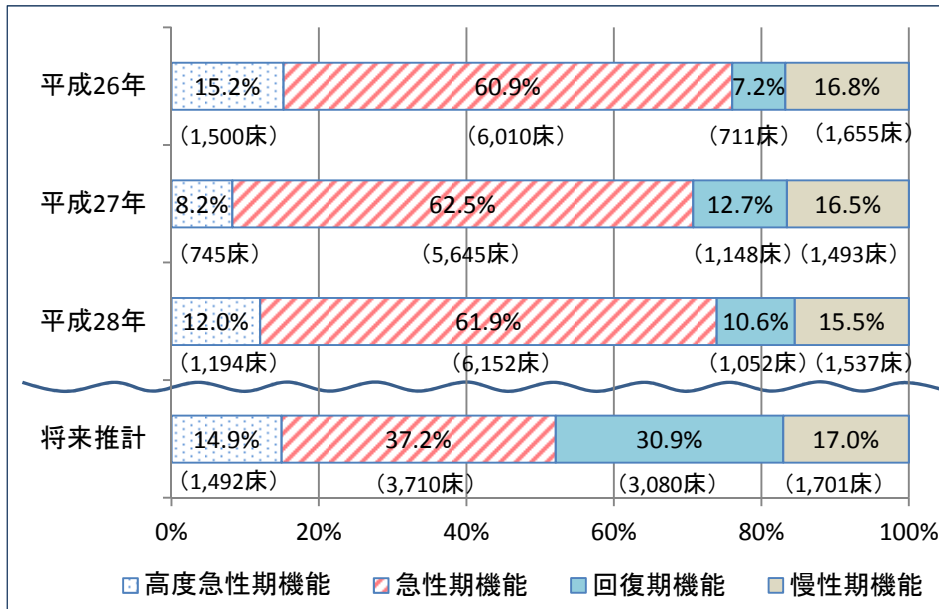
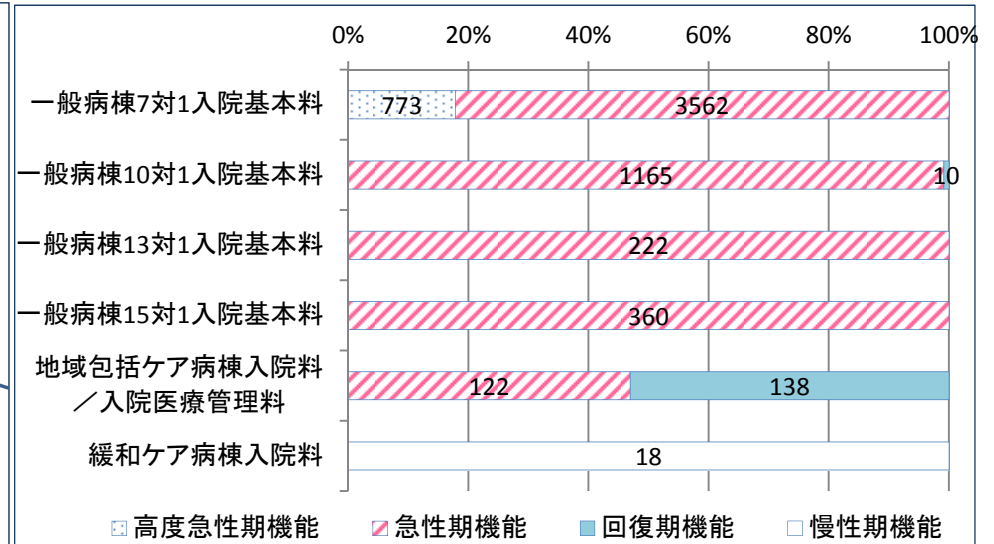


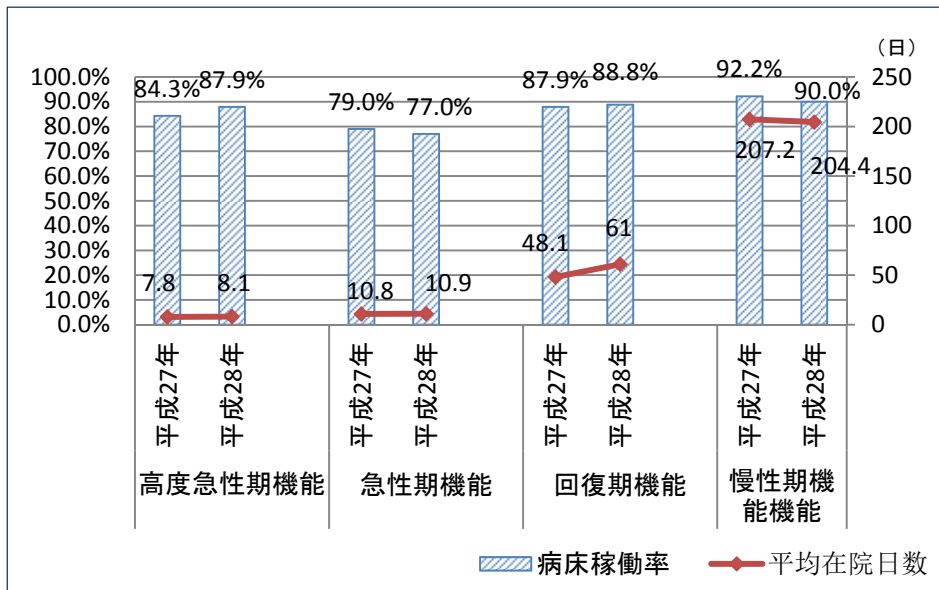
①4機能別病床数の推移(平成26年度～平成28年度)



③入院料×機能



②病床稼働率と平均在院日数の推移(平成27年度・平成28年度)



④退院後1ヶ月以内に在宅医療を必要とする患者の割合

	在宅医療を必要としない患者(死亡退院を含む)	自院が在宅医療を提供する予定の患者	他施設が在宅医療を提供する予定の患者	在宅医療の実施予定が不明の患者
高度急性期機能	2156 95.7%	3 0.1%	88 3.9%	5 0.2%
急性期機能	9572 90.3%	90 0.8%	497 4.7%	437 4.1%
回復期機能	234 55.1%	25 5.9%	92 21.6%	74 17.4%
慢性期機能	147 74.6%	11 5.6%	21 10.7%	18 9.1%

⑤退院調整部門を置いている病院の割合 62.7%

- ①H27からH28にかけて、高度急性期・急性期機能が増(7:1病床の増)
- ②急性期機能において、在院日数が長くなり病床稼働率が下がっている
- ③地域包括ケア病棟では、急性期機能と回復期機能の報告がほぼ均衡
- ④回復期機能において、退院後に他施設で在宅医療を提供する患者が多い。また、実施予定が不明という割合も高い。